

中部大学民族資料博物館 2013年 春季展示のご案内

入場無料

波濤を越えて、伝来した美しい手織り絨毯に 秘められた知られざる歴史を辿る

民族資料博物館 多目的室 5月29日(水)～8月1日(木)

開館時間 9:30～16:30 (入場は30分前まで)

正倉院御物の中にも残されており、京都 祇園祭の山鉾を飾る

懸装品にも用いられている絨毯は

古くからの大陸との交易を物語る貴重な資料です。

わが国では、江戸元禄年間(1688～1704年)に

肥前鍋島(現在の佐賀県)で織り始められ、150年ほどのち堺織通

そして嘉永2年(1849年)には赤穂織通が開始されます。

本展では、中央アジアや西アジアにその起源が考えられている

手織り絨毯の製作技術が海のシルクロードを経て

いかにして我が国に伝来し、かつ日本の

風土にあう敷物として変容してきたのか

また、受け入れられてきたのかを

親しみやすく紹介します。



公共交通機関のご利用にご協力ください。JR中央本線 神領駅下車 スクールバス7分

